

シオンの子

第 52 号

2024.12



小3 女子 『海のパーティー』
 全国児童養護施設協議会「児童文化奨励絵画展」入選作品

『がんばってね！』

僕は、病気で今まで走れな
 かったけど走れるようになった
 たから持久走大会に人生初め
 てでました。みんなとちがっ
 て、一周だけ走りました。走っ
 ているとき体がつかれて、息
 がハアハア苦しくて辛かった
 ですが、走りきってうれしかっ
 たです。

運動会も今まで見学してい
 たけど、リレーとダンスをが
 んばりました。リレーは、順
 位が最後だったのでくやしかっ
 たです。ダンスは動くとき走
 り回ったりして大変でした。
 でもでられてうれしかったです。
 今度は、全種目でられた
 らうれしいです。

僕は、この二つを特にが
 んばりました。

小学5年男子

子持山学園
 詩・作文コンクール

編集・発行
 住所・電話・FAX
 ホームページ

社会福祉法人子持山福祉会 児童養護施設 子持山学園
 〒377-0203 群馬県渋川市吹屋 201-1
<http://www.komochiyama1952.com/>

TEL 0279-23-1152 FAX 0279-23-1153
 Mail komochiyama1952@mist.ocn.ne.jp

「子持山学園と三愛荘」
評議員 阿部 健一

記念誌を拝見いたしました。創立七〇周年を迎えられた子持山学園のこれまでのお働きに敬意を表しますとともに心よりお祝い申し上げます。

三愛荘の創立者、高橋薫女史は、昭和二九年に現在地にて、単身結核アブターケア事業を開始いたしました。子持山学園が開設されて間もない時期ではなかったかと存じます。高橋薫女史も心の支えを渋川教会に求め、昭和三十六年から知的障害者事業に取り組みようになりました。

地域の中でそして渋川教会を通してからこれまでの長きにわたり、子持山学園に三愛荘をご支援いただいたことを感謝申し上げます。現在も中澤文字名誉園長には、三愛荘の評議員としてご指導を賜っております。

三愛荘でも年間行事のなかで、利用者の皆さんが楽しみにしているのは十二月のクリスマス会です。子持山学園の児童の皆さんが演じてくださる聖誕劇が毎年オーブニングを飾ってくれます。三愛荘利用者の皆さんの目が一段と輝くのが印象的です。今後とも様々な機会を通じ、学園の皆様と交流を持たせていただければと思っております。福祉制度や取り巻く環境も時代の推移とともに大きく変化しているようです。そのような中でも中澤英三先生をはじめ、先人たちが積み上げてきて

くれた有形無形の財産を大切にしている子持山学園の皆様の取り組みをお手本にして、三愛荘も進んでいければと存じます。子持山学園のますますのご発展を三愛荘一同心よりご祈念申し上げます。



2023年のクリスマス・ページェント（渋川教会）

「児童養護施設のこれから」
子持山学園の進む道」
施設長 阿久澤 磨

子どもたちが、夏の旅行、そうめん流し、2学期も頑張ろう会などで楽しく過ごした夏休みが過ぎても、猛暑の連続でした。そんな中、練習を重ねた幼・小・中の運動会や小学校の持久走大会で、子どもたちの頑張る姿に一年間の成長を実感し、職員たちは目頭を熱くしていました。また、児童祝福式では自分の七五三の姿に、表情の硬い

子、満面の笑みの子とそれぞれの個性を感じながらも、その可愛らしさに癒されました。

今年のクリスマスは、新型コロナウイルスで五年間中断していた、三愛荘で披露するクリスマス・ページェントが、再開に向け準備が進み、子どもたちと楽しみにしています。

今年の一月一日の能登半島地震で被災した児童養護施設もあつた石川県の皆様の尽力で、十月に金沢市で全国児童養護施設長研究協議会が開催されました。その最後に採択された、第七十七回全国児童養護施設長研究協議会石川大会宣言は、今の児童養護施設に求められていることを凝縮してまとめられていると思いますが、骨子は次のとおりです。

一、子どもの最善の利益をめざした養育を行い、子どもの意思・意見を尊重します。

二、子どもの日々の生活に寄り添い、支え、個別的養育機能の充実を図り、一人ひとりの育ちを保障します。

三、子どもの複雑・多様な課題に対応するため、支援拠点機能の充実を図ります。

四、地域支援機能の充実を図り、地域から必要とされる大切な機関としての役割を果たします。

五、一人ひとりの子どもの権利を尊重した養育・自立支援を行います。

令和五年四月に国が「こどもまんか社会」を目指して施行した「こども基本法」に基づき、群馬県はこども計画「ぐんまこどもビジョン二〇二五」

を策定中で、その個別計画と位置付けられことになる「群馬県社会的養育推進計画」の見直しの会議には私も参加していますが、資源の必要量・取組方針・評価指標が明確化される方向で、児童養護施設も今まで以上に高機能化・多機能化・小規模かつ地域分散化が求められています。

当学園では、地域小規模児童養護施設の新規開設の計画が実現できていません。また、子育て短期支援事業（ショートステイ）も、専用スペースがないため依頼があっても受け入れのハードルが高くなってしまっています。この二点はセットで進めたいと思います。

その他に、今後、中・長期的に取り組むべき具体的な事業としては、児童家庭支援センター・里親支援センター・親子支援事業、家族療法事業・養育支援訪問事業・一時預かり事業・子育て世帯訪問支援事業・親子関係形成支援事業・児童育成支援拠点事業・妊産婦等生活援助事業・一時保護委託の受入体制の整備等がありますが、今、地域に必要とされる事業はなにか、当園で取り組みを始めるものはどれからなのかを精査し実行していく必要があります。

まずは、小規模な町村の多い北毛地域にある児童養護施設として、市町村（こども家庭センター）との連携を図り、地域の子どもやその家庭への支援の内容を充実させるため、児童家庭支援センターの開設から検討したいと考えていますが、実行できるような組織にしていかなければと思っております。

地域に根差した施設を目指して



渋川市（旧子持村）のこの地に、子持山学園が創立して、70余年が立ち、時代と共に街並みもすっかり変わり、大きなスーパーマーケットが立ち、バイパス道路も通った。

即今、児童養護施設には、施設内の養育にとどまらず、里親支援や地域福祉の拠点となる役目が求められている。前号では、里親支援について施設の取り組みを書かせてもらった。

創立70周年の歴史を辿る中で、実に大勢の方々のご奉仕、ご支援に支えられてきた事が分かる。

創立間もなくから地域との関わりも深く、農繁期に季節保育所を開き、次いで年間を通して子持山幼稚園を開設し、村立幼稚園が出来ると、「子どものとりこはしたくない」と、廃園したとの記録が残っている。

今も時折、「子持山幼稚園を卒園しました」と、懐かしく当時を思い出し、歴史を紐解くお声を耳にする事がある。

昭和29年〜37年のまだ日本が戦後復興期に、地域のニーズをいち早く把握し、対応してきた。そして必要な支援を次に繋ぎ、まさに送致（リファー）の機能をはたしていた。

いま私たちは、前述したように、地域福祉の拠点となるべき支援を構築していかなければならない。シオンの子第50号に施設長が地域貢献について記した内容がある。災害時における一時避難並びに、防災用品等の整備を済ませている。また、養育の専門職、心理士、調理師等がいる。そしてなにより24時間対応できる施設として、地域福祉ニーズにあわせた柔軟な実践を行っていききたい。



防災備蓄品…

日用品一式、毛布、
ブルーシート、耐熱シート、
ティスポ食器、ガスボンベ、
LEDランタン等

防災食・非常食…

児童職員以外に、近隣住民分の備蓄も行っています！



創立者中澤英三先生 誕生日すき焼き

子持山学園では、毎年12月5日に、創立者 中澤英三先生の誕生日にすき焼きパーティーを行っています。

創立当時から、まだ建物も古く、着るものや食べるものが貧しかった時代に、寒い時期にみんなですき焼きを食べて乗り切ろうと始まったものだそうです。それから毎年、英三先生が心を込めて思いを尽くして子どもたちの生活を豊かに守ってきただけでありません。当時は、教会関係の方や、ボランティアの方をお招きして、お祝いしていた様です。キリスト教の中で食事を大切にしていたように英三先生は福音の証し人だったのでしよう…。



学園を支えてくれる「人」

「洗う」ことでのお手伝い
国際クリーニングセンター

和田 隆

かねてから会社として地域のために何かしら恩返しができないだろうかと考えていた時に、以前から親交があり子持中学校に赴任された後藤一浩校長先生との会話の中で子持山学園さんのことを知り、後藤校長先生に紹介して頂き繋いで頂きました。

主に子供達の制服や衣服を各学期間や衣替えの時期に無償で洗わせて頂いています。

子供達にはいつもキレイな制服や衣服を着て気持ちよく日常生活を送って頂ければ幸いです。また職員の皆さんの「洗う」ことに費やす労力と時間が少しでも軽減できればと思います。

これからも細く永く「洗う」ことでのお手伝いを可能な限り続けさせて頂きますので宜しくお願ひします。



めくみ

まこと

R君へのインタビュー

Q一人で出来るようになったことは何ですか？

- ・お風呂に入るときに服の裏表を直せること。
- ・服のボタンやチャックを出来るようになった。
- ・髪の毛、体を洗える。
- ・トイレでお尻を拭けるようになった。
- ・幼稚園の準備を出来るようになった。

Q誕生日プレゼントは何が良いですか？

- ・ゴジラのおもちゃが欲しいです。

Q好きなことは何ですか？

- ・虫を捕まえる事です。
- ・外で遊ぶことです。



「小さな一歩」を一緒に喜びながら、そっと見守っていきたいと思います。

こつした小さな成長こそ、R君が自信をつけてきている証かもしれませぬ。そんなR君も、来年は小学生になります。新しい環境の中でどのように成長していくのか、不安と期待でいっぱいですが、今後もR君が見せてくれる



「日常の中の小さな一歩」

保育士 清水 望美

年長さんのR君は元気いっぱい、毎日が冒険のような男の子です。元気がありあまり、時々職員を困らせてしまう事もある彼ですが、成長を感じる場面もありました。それは洋服の脱ぎ方についてです。職員は毎日「服を裏返しに脱がないでね」「裏返しだったら、自分で直してね」と声を掛けていました。少し前まで「やって」と職員に甘えて頼ったり、「めんどくさいなあ」と途中で投げ出したりのR君ですが、最近「目をつぶって、見ないでね」と言いながら自分で上手に脱いで、誇らしそうに見せてくれることがありました。思わず笑みがこぼれ「すごいねー完璧！」と声を掛けました。忙しい毎日の中で、何度も声を掛けてきた甲斐があったと感じる瞬間でした。

かがやく星たち



ほし・ひかりグループ

～子どもたちへインタビュー～

《ホーム旅行編》

Q思い出に残った事



- ★美女と野獣のアトラクションがすごかった。小2
- ★ディズニーランドでリトルグリーンまんを初めて食べられて嬉しかった。中1
- ★普段あまり関わらない人とも旅行を通して仲良くなれていい思い出になった。高3

《運動会編》

Q運動会で、何が大変だった？

- ★綱引きがなかなかひっぱれなくて大変。小3
- ★ダンスの組体操で、下の段と上の段で息を合わせることをたくさん練習した。小6



～子どもたちの感想～

- ★ダンスを上手に踊れてよかった。小2
- ★曲に合わせて踊ることができて良かった。小3

「初めてのバス旅行」 児童指導員 角田 美幸

山田昇記念財団様による招待旅行は、栃木方面へのバス旅行でした。3歳児3人は学園に来てから初めて皆で行くバス旅行です。朝起きると楽しみで大はしゃぎ。バスに嬉しそうに飛び乗り出発！道中も外を眺めたり歌を口ずさんだりニコニコ。大谷石の洞窟は暗く涼しい大空間で圧倒され、ちょっぴり怖かったけれど貴重な体験となりました。那須ハイランドパークでは「あれ乗りたい！」と色々な乗り物に挑戦。速い乗り物には泣きべそ。思い切り遊べた帰路の車中では居眠り。数日経っても「楽しかったね。また行こうね」「速いやつ怖かったね」と、沢山の初めてを経験し楽しい思い出になったようでした。職員としても嬉しい経験となりました。

『職員より』

ホームでは練習の話を聞くのみで、練習に参加出来るかなど些細な心配をしましたが、いざ運動会が始まってみると普段の姿とは違い、子どもたち全員全力で頑張っていました。そんな姿に成長を感じ、とても感動しました。日々刺激を受けています。



～大人へのアンケート～

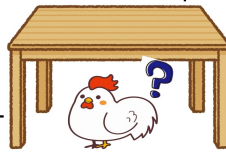
のわグループの子のココがすごい！

- エネルギッシュ・アイディアマン多数・中高生が年下に優しい
- 誰かしら譲歩することができる・ナノブロックに真剣
- ルービックキューブが早い！・優しい 賑やか よく食べる



のわグループのふしぎなところ

- それぞれの世界観 マワールド・何度言われても曲げないマワールド
- のぞみテーブル下にはニワトリを飼っているらしい
- 時々〇〇王や小さな猛獣が出現
- わかばのある部屋には時々台風が通るらしい



～編集後記～

アンケートの通り、のぞみ・わかばホームは人数は少ないですがその分、個性豊かで毎日話題の尽きないホームです。中高生は年下に優しく、そのお陰で小さい子は元気に伸び伸びと過ごす事が出来ています。この優しい連鎖がこの先も続いていく。そんなホームであって欲しいと願います。

のぞみ・わかばグループ

～子どもへのアンケート～

頑張っている&頑張ったこと

- ★運動会
- ★持久走
- ★卵を食べること
- ★部活
- ★自身の自立に向けて

頑張りたいこと

- ★持久走大会
- ★お手伝い
- ★勉強、高校に向けて
- ★自分磨き
- ★苦手意識を払拭



のわグループのココがすき♡

- 抱っこしてくれる職員さんが沢山
- 静かなところ
- 9年間ホーム移動がなかった



星座



シオンホーム

「夏休みを終えて」
 児童指導員 石田 千晃
 7月下旬、今夏の酷暑を予感させる強い日差しの中、1学期が終わりを迎えました。そして始まった子どもたちにとっては幾度目かの、私にとっては初めての学園で過ごす夏休み。「今年の旅行はどこかなあ」「宿題を終わらせないと行けないよ」と、旅行への楽しみを糧にし、毎日勉強に取り組んでいた姿が印象的です。

「初めての夏休みを終えて」
 児童指導員 山崎 泰弘
 入職し初めての夏休みを迎え、多くの学びと感動を得ました。ホーム旅行でのディズニーランドは、この夏一番の思い出です。子どもたちは長い車内での移動中もワクワクし、パークに到着した瞬間の笑顔は忘れられません。アトラクションに乗るたびに大きな笑い声が響き、子どもたち同士も普段以上に打ち解けていたように感じます。その姿を見て改めて、特別な体験が子どもたちにとってどれほど大切なのかを実感しました。

子どもたちと多くの時間を過ごすことで、日頃気付かなかった小さな変化や個々の特性を知ることができたこと、関係性の構築を図れたことなど私にとって得るものが多い貴重な時間となりました。豊かな表情を見せる子どもたちを見ながら、大人になった頃少しもこの日々が良い思い出として残っていることを願うと同時に、大切なこの期間を一緒に過ごす大人として子どもたちの成長だけでなく、楽しそうな姿もしっかり記憶していこうと決めました。

日々の活動を通じて子どもたちとの絆を深める機会がありました。日常の中で一緒に遊んだり、宿題を手伝ったりする中で、普段は気付かないような子どもたちの小さな成長や個性を発見する事ができました。一人一人が異なる背景や経験をもっているため、その子どもにも合わせた接し方が求められることを、改めて強く感じました。夏休みという普段とは違った時間が、彼らにとっても私にとってもかけがえのないものだったと思います。

この期間で得た思いや経験を活かし、これからの養育に繋げていきたいと思えます。



浅田ホーム

「この夏を通して学んだこと」
 今後の支援に活かしていきたいと思えます。子どもたちが安心して成長できる環境を提供するために、自身のスキルをもっと磨き、より良いサポートを目指して努力します。



夏の思い出



キッチンカー

自然体験会



秋の思い出



夏の集い



フットボール大会



運動会



子持山登山



ワールドサーカス



ディズニー旅行
浅田ホーム

夏の
旅行

ディズニー旅行



軽井沢おもちゃ王国

法人単位貸借対照表
令和6年3月31日現在

(単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	94,324,275	101,618,207	-7,293,932	流動負債	23,045,423	12,939,152	10,106,271
現金預金	71,172,647	47,960,408	23,212,239	事業未払金	11,670,138	2,212,099	9,458,039
事業未収金	23,101,628	49,680,799	-26,579,171	預り金	368,117	257,053	111,064
未収補助金	50,000	3,817,000	-3,767,000	賞与引当金	11,007,168	10,470,000	537,168
前払費用	0	160,000	-160,000				
仮払金	0	0	0	固定負債	1,846,688	2,111,960	-265,272
固定資産	690,050,332	637,419,039	52,631,293	退職給付引当金	1,846,688	2,111,960	-265,272
基本財産	153,551,290	159,958,805	-6,407,515	負債の部合計	24,892,111	15,051,112	9,840,999
土地	15,119,106	15,119,106	0	純資産の部			
建物	138,432,184	144,839,699	-6,407,515	基本金	29,219,106	29,219,106	0
その他の固定資産	536,499,042	477,460,234	59,038,808	第一号基本金	29,219,106	29,219,106	0
建物	26,088,458	29,379,103	-3,290,645	国庫補助金等特別積立金	113,808,239	121,660,713	-7,852,474
構築物	8,797,017	9,942,105	-1,145,088	その他の積立金	478,600,000	422,600,000	56,000,000
車輜運搬具	8,674,754	4,002,926	4,671,828	人件費積立預金	198,700,000	198,700,000	0
器具及び備品	6,791,271	8,786,166	-1,994,895	施設設備整備等積立金	279,900,000	223,900,000	56,000,000
建設仮勘定	5,239,480	0	5,239,480	次期繰越活動増減差額	137,855,151	150,506,315	-12,651,164
ソフトウェア	365,164	555,684	-190,520	(うち当期活動増減差額)	43,348,836	29,428,103	13,920,733
人件費積立資産	198,700,000	198,700,000	0	純資産の部合計	759,482,496	723,986,134	35,496,362
施設整備等積立資産	279,900,000	223,900,000	56,000,000	負債及び純資産の部合計	784,374,607	739,037,246	45,337,361
退職給付引当資産	1,846,688	2,111,960	-265,272				
リサイクル預託金	96,210	82,290	13,920				
資産の部合計	784,374,607	739,037,246	45,337,361				

第一号第一様式（第十七条第四項関係）

法人単位資金収支計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	児童福祉事業収入	300,617,016	296,131,819	4,485,197
	経常経費寄附金収入	3,970,000	4,119,069	-149,069
	受取利息配当金収入	10,101	9,374	727
	その他の収入	3,948,000	4,000,813	-52,813
	事業活動収入計	308,545,117	304,261,075	4,284,042
	支出			
	人件費支出	209,713,900	201,074,053	8,639,847
	事業費支出	38,982,000	37,669,221	1,312,779
	事務費支出	13,450,472	12,514,520	935,952
その他の支出	2,585,000	2,575,375	9,625	
流動資産評価損等による資金減少額	0	1,702,000	-1,702,000	
事業活動支出計	264,731,372	255,535,169	9,196,203	
事業活動資金収支差額	43,813,745	48,725,906	-4,912,161	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等寄附金収入	2,500,000	2,500,000	0
	固定資産売却収入	10,190	10,190	0
	施設整備等収入計	2,510,190	2,510,190	0
支出				
固定資産取得支出	12,340,000	12,117,001	222,999	
施設整備等支出計	12,340,000	12,117,001	222,999	
施設整備等資金収支差額	-9,829,810	-9,606,811	-222,999	
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	0	464,982	-464,982
	その他の活動収入計	0	464,982	-464,982
	支出			
	積立資産支出	54,000,000	56,422,712	-2,422,712
その他の活動による支出	24,400	24,400	0	
その他の活動支出計	54,024,400	56,447,112	-2,422,712	
その他の活動資金収支差額	-54,024,400	-55,982,130	1,957,730	
予備費支出	3,365,001		355,001	
	-3,010,000			
当期資金収支差額合計	-20,395,466	-16,863,035	-3,532,431	
前期末支払資金残高	99,149,055	99,149,055	0	
当期末支払資金残高	78,753,589	82,286,020	-3,532,431	

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）

法人単位事業活動計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	児童福祉事業収益	296,131,819	269,427,868	26,703,951
	経常経費寄附金収益	4,119,069	1,891,122	2,227,947
	その他の収益	0	0	0
	サービス活動収益計	300,250,888	271,318,990	28,931,898
	費用			
	人件費	201,568,951	186,581,338	14,987,613
	事業費	37,669,221	41,139,683	-3,470,462
	事務費	12,514,520	8,348,351	4,166,169
	減価償却費	14,827,408	15,010,057	-182,649
国庫補助金等特別積立金取崩額	-7,852,474	-7,852,474	0	
サービス活動費用計	258,727,626	243,226,955	15,500,671	
サービス活動増減差額	41,523,262	28,092,035	13,431,227	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	9,374	8,824	550
	その他のサービス活動外収益	4,223,815	3,670,683	553,132
	サービス活動外収益計	4,233,189	3,679,507	553,682
	費用			
その他のサービス活動外費用	4,500,377	2,343,437	2,156,940	
サービス活動外費用計	4,500,377	2,343,437	2,156,940	
サービス活動外増減差額	-267,188	1,336,070	-1,603,258	
経常増減差額	41,256,074	29,428,105	11,827,969	
特別増減の部	収益			
	施設整備等寄附金収益	2,500,000	0	2,500,000
	特別収益計	2,500,000	0	2,500,000
	費用			
	固定資産売却損・処分損	407,238	2	407,236
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	0	0	
国庫補助金等特別積立金積立額	0	0	0	
特別費用計	407,238	2	407,236	
特別増減差額	2,092,762	-2	2,092,764	
繰越				
前期繰越活動増減差額	43,348,836	29,428,103	13,920,733	
当期繰越活動増減差額	150,506,315	121,078,212	29,428,103	
繰越活動増減差額合計	193,855,151	150,506,315	43,348,836	
額活動増減の部	基本金取崩額	0	0	0
	その他の積立金取崩額	0	3,000,000	-3,000,000
	その他の積立金積立額	56,000,000	3,000,000	53,000,000
	次期繰越活動増減差額	137,855,151	150,506,315	-12,651,164

お心遣いに感謝致します 敬称略

令和6年5月23日〜令和6年11月30日

【寄附金】

フットラックサーカイ(タイ瞑想村)、柳沢好邦、入澤達也、中新井要子、一般財団法人日本善行会、群馬県北毛支部、吉水晃三、坂井勉、中島俊一、渋川・北群馬地区更生保護女性会子持支部、橋本敦子、宮崎岳志、中澤文字、更生保護女性会古巻支部、外山晴子

【寄附物品】

フードバンクしぶかわ、文屋(代表木下豊)、山口道子、坂田信隆、坂好文、登坂淳、大竹祐治、タイ瞑想村、小村克次、聖心院小田桐秀行、中林未佳、㈱ニラク渋川白井店、須田正之、中澤達雄、大和農水産物センター、植田昭三、関隆彦・えり、㈱原田・ガトーフェスタハラダ、星野憲司、ロステーション中之条店、小澤義孝、登坂茂喜、後藤誠、高橋春美、大類博史、長島英之、吉水晃三(宗本寺住職)、戸澤辰也、中澤えつよ、木暮明美・美優、阿久津貞司、㈱アースウェイ、シユピターズキッチン、門司一徹、狩野千代子、望月栄一、グローバルビッグファーム㈱、シャノクスイート(高橋正忠)、犬塚玲子、島田製材所(島田嘉高)、「笑顔と感動を届けるプロジェクト」代表荒川洋、㈱チユチュアンナ1%クラブ、森田真広、橋本敦子、佐藤和子、㈱フレール館出版・コンテンツ事業部、石倉健、飯塚克昌、更生保護女性会古巻支部、今井貢、五十嵐研介、伊勢亜希子、㈱モギカバン本店、並木なつ江、鴻田由雄、中嶋輝久、一般社団法人日本レコード協会、内藤彰信、西郷悟、高橋尚弘

匿名希望他 各位



☆ポフンティア

〈書道〉 大塚廣未、山口道子
〈学習〉 都丸昌美、山口幸輔
〈児童交流〉 環境整備 宮崎満
児童養護施設支援の会
〈児童交流、学習〉 小野水子
新島短大
〈児童祝福式・着付け等〉 原澤やよい

掲示板

★苦情解決報告

令和6年6月〜11月 2件

〈内容〉

- ・職員の態度について
 - ・ホーム移動の要望について
- 〈結果〉
- ・該当職員との話し合い、改善を求め解決。
 - ・話を聞き、ホーム移動については、全体のバランスをみて年度末に検討する際に考慮する旨を伝える。

★子ども祝福式報告

令和6年11月2日

3歳女児2名 5歳男児1名
健やかな成長を、お祈り致しました。



感謝

ご支援ありがとうございます。

★令和六年春巡業大相撲
ぐんま場所招待
浜大商事(株)様



★プロレス

浜大商事(株)様



★ボーリング大会参加
JR東労働組合高崎地方本部様

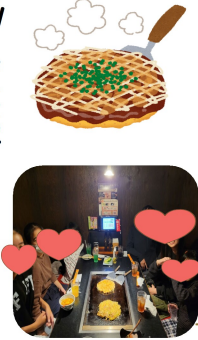


★『とちぎ体験』

公益財団法人
山田昇記念財団様

★お好み焼きKAN

SAI食事券
(株) コラボレーション様



★WW・FEST

GUNMAお笑いLIVE
(株)ATTNOEL様

★タイ瞑想村招待

フットラックサーカイ様
その他沢山の方から
ご支援賜っております。



入所児童状況(令和6年12月1日現在)

・幼児	6名	・小学生	15名
・中学生	7名	・高校生	11名
計	39名		

☆北極星

暑い夏が終わり、秋を感じる間もなく冬を迎える。近年の異常気象のせい、夏が長く、うっかりしていると紅葉の季節を楽しむ間もなく、冬が訪れてしまう。毎年同じ季節を繰り返しているはずだか、その時その年によって見える景色、感じ方が全く違う。

先日の児童祝福式では、日本キリスト教団渋川教会の臂牧師に、こども祝福式を執り行ってもらった。二人の3歳の女子は、それぞれ黄色とピンクの着物を着て、恥ずかしく照れ笑い、5歳の男の子はカッコいい姿勢にお澄まし顔。学園では、毎年の行事となっており、職員は「昨年同様…。毎年と同じで…。」と、行事を実施するが、子どもたちにとっては、一生に一度の晴れ舞台。日々の雑務に追われ、慌ただしい毎日だが、ほんの少し立ち止まり、子どもたちと出会えた感謝を忘れずに、子どもの成長を喜びたい。移り行く季節を感じられる心の余裕と共に…。(F)